

2019年5月 富士山 BC スキー記録

(記 鳥切昇治)



須走口砂走りから富士山を仰ぐ

樹間から日の出

期 間:2019年5月12日(日)

場 所:富士山 須走口

メンバー:鳥切 昇治

行動記録

二日前に79才になった。滑り納めにしてある富士山のバックカントリースキーも今年は無理だと思っていた。5月4日、丹沢へトレニングに行ってきた状況から、今年もチャレンジ出来そうだった。天気予報を調べ5月12日に須走口から頂上を目指すことにした。富士山のバックカントリースキーは今回で9回目になる。今年の富士山は4~5月にかなりの雪が降った割に雪が少なかった。

5月12日、須走口五合目駐車場から頂上の浅間大社奥宮まで登り、無事に滑って来た。

5月12日(日) 天候:晴・曇

前日の夕刻、須走口五合目駐車場(標高:約2000m)に来て車中泊。目覚ましのチャイムで起こされる。快適に眠った。外に出ると星が瞬いていた。湯を沸かし、朝食を食べてから車外に出ると、もう明るくなっている。

トレラン用のシューズを履きスキーをザックに付け、スキー靴はスキーに付けて担ぐ。肩にズッシリと重さを感じる。YAMAPをセットし、駐車場の脇から下山道を登る。砂払い五合目に出て雪が無い砂走りを登る。雪原に黒が目立つ。やはり雪が少ない。2ピッチ登ってスキ

一靴に履き替え、アイゼンを装着し登り始める。今回、シールとクローは持って来なかった。

広い雪面に出て、右手の夏道の方に登って行く。単調な登りは我慢強さを要求される。10時頃から雲行きが怪しくなり、時折ガスに覆われる。このままガスに覆われるなら頂上は無理かも知れないと思いながら登る。雪が締まっていて歩き易い。



山中湖が見える



本八合目付近から頂上を望む

鳥居がある本八合目上の夏道の方へトラバース。北風が強くなり、寒さを感じウインドブレーカーを着る。吉田口から登って来たと思われる人達が先を登って行く。日曜日なのに今日は少ない。下山してくる登山者が登りのトレースを崩し、歩き難い。



頂上の狛犬と鳥居



頂上の浅間大社奥宮に到着

頂上の山小屋が間近になり、狛犬と鳥居を抜け、浅間大社奥宮に着いた。今年も何とか登る事が出来た。雲行きが怪しいので早目に下ることにし、滑走準備をする。

剣ヶ峰の写真を撮ってからスキーを履き須走口下山道口から滑り始める。雪面はアイスバーン状態で慎重に滑る。時折ガスに覆われるので視界が良くなるのを待って滑る。時々YAMAPで現在位置を確認する。下部に来るとストップ雪になり滑り難い。七合目付近から下山道を示す白いロープに沿って滑り、灌木が出て来た所で滑走を終



頂上の山小屋前で

了する。スキーとスキー靴を担ぐと重い。ウインドブレーカーを脱いで下り始める。1時間程で五合目駐車場に着いた。



滑走終了点から振り返る

コースタイム

須走口五合目駐車場 4:30—5:15 砂払い五合目—6:10 靴替え(アイゼン装着 6:30—12:30 浅間大社奥宮 13:10—13:55 滑走終了点 14:15—15:10 須走口五合目駐車場 15:30—18:40 自宅



須走口下山口から富士山剣ヶ峰

今年も無事に滑り納めが出来た。来年もこられるのか?と思いつつ帰路に着いた。

以上